



SIP フェデレーション用の IM and Presence サービスの設定

IM and Presence サービス リリース 9.0 以降では、Microsoft Lync とのドメイン間フェデレーションがサポートされています。また IM and Presence サービス リリース 9.0 以降の場合、OCS とのドメイン間フェデレーションへの参照には、別途明示的な指定がない限り、Microsoft Lync が指定されます。

- [SIP フェデレーテッド ドメインの追加, 1 ページ](#)
- [IM and Presence サービスでのルーティング設定, 3 ページ](#)
- [フェデレーションのルーティング パラメータの設定, 5 ページ](#)
- [IM and Presence サービスでのセキュリティの設定, 7 ページ](#)
- [SIP フェデレーションサービスの有効化, 9 ページ](#)

SIP フェデレーテッド ドメインの追加



(注) IM and Presence サービス リリース 9.0 では、AOL との SIP フェデレーションがサポートされています。



(注) SIP フェデレーションとリモート コール制御 (RCC) は、同じ IM and Presence サービス クラスタ上では連動しません。この理由は、SIP フェデレーションでは、Cisco IM and Presence サービスと Microsoft Lync/OCS の両方のライセンスはユーザに付与されませんが、RCC では、Cisco IM and Presence サービスと Microsoft Lync/OCS のライセンスを同時にユーザに付与する必要があります。

フェデレーテッド ドメイン エントリを設定すると、IM and Presence サービスは自動的にフェデレーテッド ドメイン エントリに着信 ACL を追加します。Cisco Unified CM IM and Presence

Administration ユーザインターフェイスでフェデレーテッドドメインに関連付けられた着信 ACL を表示することはできますが、変更や削除を行うことはできません。着信 ACL を削除できるのは、（関連付けられた）フェデレーテッドドメインエントリを削除する場合だけです。

AOL との SIP フェデレーションを設定する場合は、以下の点に注意してください。

- AOL ネットワークは、パブリック コミュニティとホステッド ネットワークの両方を使用して構成することができます。これらの各ドメインは、IM and Presence サービス でタイプが AOL である SIP フェデレーテッドドメインとして設定する必要があります。
- 「user@acompany.com」などのホステッドドメインのユーザに対応するためには、IM and Presence サービスでタイプが AOL である SIP フェデレーテッドドメインを「acompany.com」用に設定する必要があります。
- 「aol.com」ドメインおよび「aim.com」ドメインのユーザに対応するためには、IM and Presence サービスで「aol.com」用の SIP フェデレーテッドドメインを1つ追加するだけで十分です。AOL ネットワークでは、「user@aim.com」を「user@aol.com」として処理することができます。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM IM and Presence Administration] ユーザインターフェイスにログインします。[プレゼンス (Presence)] > [ドメイン間フェデレーション (Inter Domain Federation)] > [SIP フェデレーション (SIP Federation)] を選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** [ドメイン名 (Domain Name)] フィールドにフェデレーテッドドメイン名を入力します。
- ステップ 4** [説明 (Description)] フィールドにフェデレーテッドドメインを識別する説明を入力します。[Manage Domains (ドメインの管理)] タブからアクセスできる Cisco Jabber リリース 8.x のプライバシー設定では、ユーザに対してこのテキスト文字列が表示されます。そのため、ユーザにとって分かりやすいドメイン名を入力するようにしてください。
- ステップ 5** 次の統合のいずれかを選択します。
- ドメイン間から OCS/Lync (Inter-domain to OCS/Lync)
 - ドメイン間から AOL (Inter-domain to AOL)
- ステップ 6** Microsoft OCS とのフェデレーションを設定する場合は、[ダイレクト フェデレーション (Direct Federation)] チェックボックスがオフになっていることを確認します。
- ステップ 7** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 8** SIP フェデレーテッドドメインを追加、編集、または削除した後、Cisco XCP ルータを再起動します。[Cisco Unified IM and Presence Serviceability] ユーザインターフェイスにログインします。[ツール (Tools)] > [コントロールセンター-ネットワークサービス (Control Center - Network Services)] を選択します。これにより、Cisco XCP ルータを再起動すると、IM and Presence サービスですべての XCP サービスが再起動します。
-

IM and Presence サービスでのルーティング設定

SIP フェデレーションの DNS 設定

ローカル IM and Presence サービス企業では、DNS SRV を通じて他のドメインが IM and Presence サービス ノードを確認できるように、IM and Presence サービスが各ローカル IM and Presence サービス ドメインに DNS SRV レコードをパブリッシュしなければなりません。DNS SRV レコードにそれぞれが同じパブリック IP アドレスに解決される必要があります。

Microsoft のエンタープライズ導入では、IM and Presence サービスが IM and Presence サービス ドメインの DNS SRV レコードを公開することが求められます。IM and Presence サービスを Access Edge サーバのパブリック IM プロバイダとして設定するからです。

IM and Presence サービスのエンタープライズ導入では、ポート 5061 で `_sipfederationtls._tcp.imp_domain` をポイントする DNS SRV レコードを設定する必要があります。ここで、`imp_domain` は IM and Presence サービス ドメインの名前です。この DNS SRV は、ルーティング用 IM and Presence サービス ノードのパブリック FQDN を指定している必要があります。この FQDN は、パブリックに解決可能であることが必要です。

IM and Presence サービスが外部ドメインを確認できるようにするには、外部ドメインの外部インターフェイスの FQDN を指定する外部ドメインの DNS サーバに DNS SRV レコードが存在する必要があります。

AOL との SIP フェデレーションを設定した場合、AOL では FQDN をベースにルーティングが行われます。そのため、ルーティング用 IM and Presence サービス ノードの FQDN は、パブリックに解決可能であることが必要です。AOL では、DNS SRV ルックアップは実行されず、代わりに IM and Presence サービスの FQDN が静的に設定されます。そのため、この FQDN はパブリックに解決可能であることが必要です。



ヒント

DNS SRV ルックアップを実行するには、次のコマンドシーケンスを使用します。

```
nslookupset type=srv _sipfederationtls._tcp.domain
```

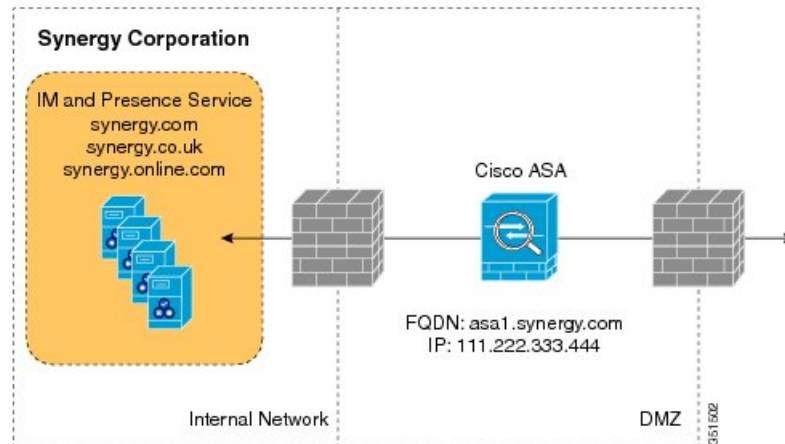
IM and Presence サービスがパブリック DNS lookup で外部企業を解決できない場合は、配置のスタティック ルートを設定しなければなりません。

ドメイン間フェデレーション導入の SIP DNS SRVs

次の例では、複数のローカルドメインをすべて同じパブリック FQDN に解決し、DNS SRV レコードを IM and Presence サービス展開でホストされたドメインごとに公開しなければなりません。次

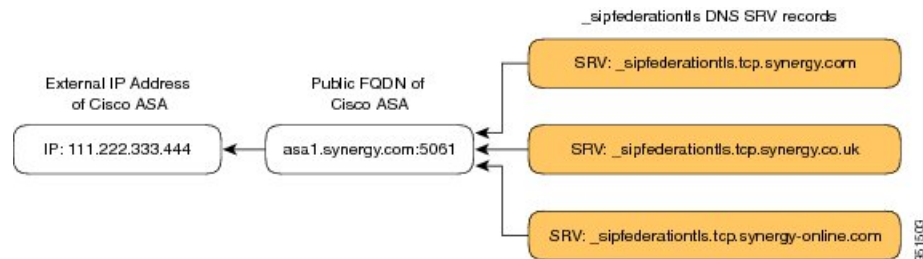
の図は、3つのローカルドメインが存在するドメイン間フェデレーション導入の例を示しています。各ドメインの_sipfederationtls DNS SRV レコードを公開します。

図 1: SIP ベースのフェデレーテッドドメイン間導入の複数ドメイン



各 DNS SRV レコードは、次の図が示すように DMZ（ポート 5061）に導入された Cisco Adaptive Security Appliance の外部（パブリック）IP アドレスの FQDN に解決される必要があります。

図 2: Cisco Adaptive Security Appliance の FQDN を解決する SIP DNS SRV



関連項目

[TLS を使用したスタティック ルートの設定](#), (4 ページ)

TLS を使用したスタティック ルートの設定



(注) スタティック ルートの設定は、SIP フェデレーションの場合のみ行います。

IM and Presence サービス ノードが DNS SRV を使用して外部ドメインを検出できない場合は、IM and Presence サービス上で、その外部ドメインの外部インターフェイスに向かうスタティック ルートを設定する必要があります。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM IM and Presence Administration] ユーザ インターフェイスにログインします。[プレゼンス (Presence)] > [ルーティング (Routing)] > [スタティック ルート (Static Routes)] を選択します。
- ステップ 2** スタティック ルートに関するパラメータを以下のように設定します。
- 宛先パターンには、外部エンタープライズドメイン名を反転させた値を設定する必要があります。たとえば、ドメインが domaina.com であれば、[宛先パターン (Destination Pattern)] の値は .com.domaina.* となります。
 - [ネクスト ホップ (Next Hop)] の値は、Microsoft OCS とのフェデレーションの場合は外部 Access Edge の FQDN または IP アドレス、AOL とのフェデレーションの場合は AOL SIP Access Gateway の FQDN または IP アドレスです。
 - [ネクスト ホップ ポート (Next Hop Port)] の番号は **5061** です。
 - [ルート タイプ (Route Type)] の値は **domain** です。
 - [プロトコル タイプ (Protocol Type)] は **TLS** です。
- ステップ 3** [保存 (Save)] をクリックします。

関連トピック

フェデレーションのルーティングパラメータの設定

はじめる前に

初めて IM and Presence サービスをインストールする場合、フェデレーション ルーティング パラメータは、パブリッシャ ノードの FQDN に自動的に設定され、IM and Presence サービスは、各サブスクリバ ノードにこの値を渡します。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM IM and Presence Administration] ユーザ インターフェイスにログインします。[システム (System)] > [サービス パラメータ (Service Parameters)] を選択します。
- ステップ 2** [サーバ (Server)] ドロップダウン リストから [IM and Presence サービス (IM and Presence Service)] ノードを選択します。
- ステップ 3** [サービス (Service)] ドロップダウン リストから [Cisco SIP プロキシ (Cisco SIP Proxy)] を選択します。
- ステップ 4** [フェデレーション ルーティング パラメータ (クラスタ全体) (Federation Routing Parameters (Clusterwide))] セクションで、[フェデレーション ルーティング IM and Presence の FQDN (Federation Routing IM and Presence FQDN)] パラメータの値として、パブリック FQDN を入力します。
- この FQDN 値は、その IM and Presence サービス ドメインのパブリック DNS にある `_sipfederationtls` エントリに一致している必要があります。次に例を示します。
 - プレゼンス サーバ FQDN が `imp1.cisco.com`、DNS SRV が `_sipinternaltls._tcp.cisco.com` (FQDN `imp1-public.cisco.com` をポイント) の場合、フェデレーション ルーティング FQDN は `imp1-public.cisco.com` になることがあります。
 - プレゼンス サーバ FQDN が `imp1.cisco.com`、DNS SRV が `_sipinternaltls._tcp.cisco.com` (`imp1-public.ciscoext.com`) の場合、フェデレーション ルーティング FQDN は `imp1-public.ciscoext.com` になることがあります。
- (注) このパラメータは、プレゼンス サーバと Lync サーバの間にファイアウォール (ASA) と TLS プロキシが存在するフェデレーション、および [プレゼンス (Presence)] > [ドメイン間フェデレーション (Inter-domain federation)] > [SIP フェデレーション (SIP Federation)] の下の [ダイレクトフェデレーション (Direct Federation)] チェックボックスがオンになっているフェデレーションには適用されません。
- ユーザをルーティング用 IM and Presence サービス ノードに割り当てる場合、この FQDN 値を IM and Presence サービス ノードの実際の FQDN と同じにすることはできません。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
-

次の作業

IM and Presence サービス のフェデレーション ルーティング FQDN パラメータを変更した場合は、Cisco UP XCP ルータを再起動します。**Cisco Unified Serviceability** のユーザ インターフェイスにログインし、[ツール (Tools)] > [コントロールセンター-Cisco Unified Serviceabilityのネットワーク サービス (Control Center - Network Services in Cisco Unified Serviceability)] を選択します。

Cisco UP XCP ルータを再起動すると、それにより IM and Presence サービスのすべての XCP サービスが再起動します。

関連トピック

IM and Presence サービスでのセキュリティの設定



(注) この設定手順が適用されるのは、企業内にフェデレーションを導入する際にセキュアな TLS 接続を必要とする場合など、フェデレーションを導入するにあたって Cisco Adaptive Security Appliance を使用しない場合のみです。



(注) Microsoft Lync は、EC 暗号方式をサポートしません。EC 暗号方式を選択する場合は、非 EC 暗号方式のみか、EC 暗号方式と非 EC 暗号方式の併用のどちらかを選択する必要があります。EC 暗号方式のみを選択しないでください。



(注) Default_Cisco_SIP_Proxy_Peer_Auth_TLS_Context では、追加のより強力な暗号方式を選択できます。必要な設定に基づいて適切な暗号方式を選択できます。ドメイン間フェデレーションを設定する前に、選択した暗号方式リストがピアのサポート対象暗号方式と一致していることを確認する必要があります。

新規 TLS ピア サブジェクトの作成

Cisco Adaptive Security Appliance セキュリティ証明書書を IM and Presence サービスにインポートすると、IM and Presence サービスは Cisco Adaptive Security Appliance を TLS ピア サブジェクトとして自動的に追加します。そのため、IM and Presence サービスでは、Cisco Adaptive Security Appliance を TLS ピア サブジェクトとして手動で追加する必要はありません。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM IM and Presence Administration] ユーザ インターフェイスにログインします。[システム (System)] > [セキュリティ (Security)] > [TLS ピア サブジェクト (TLS Peer Subjects)] を選択します。
- ステップ 2 [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3 次のいずれかの値を入力します。
 - a) Microsoft OCS との SIP フェデレーションを設定する場合は、[ピア サブジェクト名 (Peer Subject Name)] フィールドに、Access Edge サーバの外部 FQDN を入力します。この値は、Microsoft の Access Edge サーバによって提示される証明書の件名 CN と一致する必要があります。

- b) AOL との SIP フェデレーションを設定する場合は、AOL SIP Access Gateway の外部 FQDN を入力します。この値は、AOL SIP Access Gateway サーバによって提示される証明書の件名 CN と一致する必要があります。

ステップ 4 [説明 (Description)] フィールドに外部サーバの名前を入力します。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

次の作業

[選択した TLS ピア サブジェクト リストへの TLS ピアの追加, \(8 ページ\)](#)

関連トピック

[IM and Presence サービスへの自己署名証明書のインポート](#)

選択した TLS ピア サブジェクト リストへの TLS ピアの追加

はじめる前に

新規 TLS ピア サブジェクトの作成

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM IM and Presence Administration] ユーザ インターフェイスにログインします。[システム (System)]>[セキュリティ (Security)]>[TLS コンテキスト設定 (TLS Context Configuration)] を選択します。
- ステップ 2** [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 3** [Default_Cisco_SIP_Proxy_Peer_Auth_TLS_Context] をクリックします。
- ステップ 4** 使用可能な TLS 暗号のリストからすべての暗号を選択します。
- ステップ 5** 矢印をクリックして、[選択された TLS 暗号 (Selected TLS Ciphers)] までこれらの暗号を移動します。
- ステップ 6** 使用可能な TLS ピア サブジェクトのリストから、前の項で設定した TLS ピア サブジェクトをクリックします。
- ステップ 7** 矢印をクリックして、選択されている TLS ピア サブジェクトを [選択された TLS ピア サブジェクト (Selected TLS Peer Subjects)] に移動します。
- ステップ 8** Microsoft OCS とフェデレーションを行う場合は、[空の TLS フラグメントの無効化 (Disable Empty TLS Fragments)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 9** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 10** Cisco SIP プロキシ サービスを再起動します。
- (注) AOL フェデレーションと Microsoft OCS フェデレーションを同じ IM and Presence サービス ノード上に展開する場合は、[空の TLS フラグメントの無効化 (Disable Empty TLS Fragments)] チェックボックスをオンにしても、AOL フェデレーションに影響はありません。

関連トピック

[新規 TLS ピア サブジェクトの作成, \(7 ページ\)](#)

SIP フェデレーション サービスの有効化

各 IM and Presence サービス ノード上では、Cisco XCP XMPP Federation Connection Manager サービスを有効にする必要があります。このサービスを有効にすると、それぞれのノード上でプロビジョニングした各ユーザに対して SIP フェデレーション機能が有効になります。この作業は、クラスター内のノードごとに実行する必要があります。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified IM and Presence Serviceability] ユーザ インターフェイスにログインします。[ツール (Tools)] > [サービス アクティベーション (Service Activation)] を選択します。
- ステップ 2 [ホスト (Host)] ドロップダウン リストからサーバを選択します。
- ステップ 3 [移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 4 [IM and Presence サービス (IM and Presence Services)] セクションで、[Cisco XCP SIP Federation Connection Manager] サービスの横にあるボタンを選択します。
- ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 6 SIP フェデレーションを利用するためには、Cisco SIP プロキシ サービスが実行されている必要があります。[Cisco Unified IM and Presence Serviceability] ユーザ インターフェイスにログインします。[ツール (Tools)] > [機能サービス (Feature Services)] を選択し、Cisco SIP プロキシ サービスが実行されていることを確認します。

関連トピック

[フェデレーションでのログインの使用](#)

